

【概況】<イスラエルとハマスの紛争懸念後退>

●20日、この日納会を迎える11月物は午前中、持ち高調整を中心とした売り買いが交錯。ただ、前日の取引時間外で90ドル台まで上昇したこともあり、午後は利益確定の売りが強まり、マイナス圏に沈んだ。またクレーブランド連邦準備銀行のメスター総裁は20日に講演し、連邦準備制度理事会(FRB)の政策金利が「据え置き水準の近くか、その水準にある公算が大きい」との見解を表明した。市場では利上げ局面長期化による景気減速が原油需要低迷につながるとの懸念が再燃し、相場は88.75ドルへ反落しました。

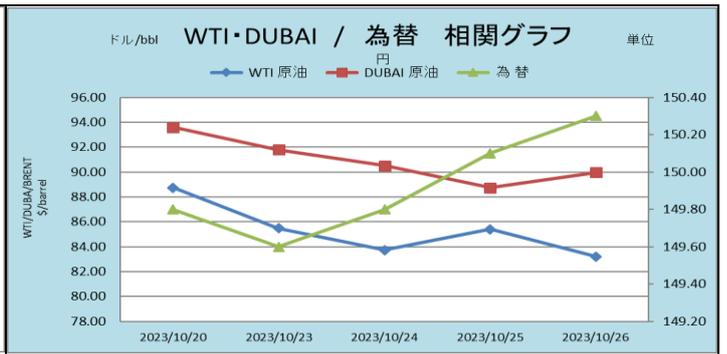
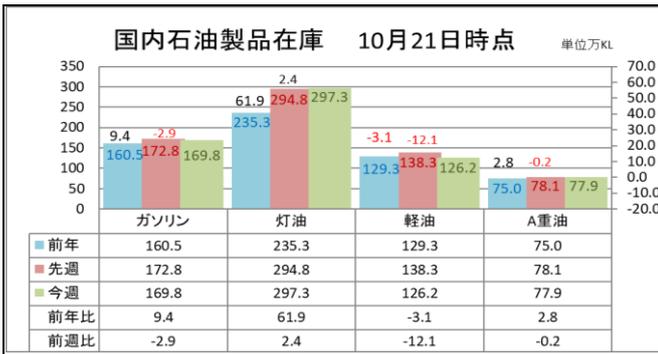
●23日、バイデン米大統領とイスラエルのネタニヤフ首相は22日に電話会談し、イスラム組織ハマスが実効支配するパレスチナ自治区ガザへの人道支援物資の搬入を継続することで一致。また日本を除く先進7カ国(G7)の6首脳は22日に電話会談し、紛争拡大阻止に向けて緊密な外交調整を続けることを確認した。一連の外交努力を眺めて石油供給混乱への懸念が後退し、この日は売りが優勢し相場は85.49ドルへ下落しました。

●24日、S&Pグローバルが24日発表した10月のユーロ圏HCOB総合購買担当者景況指数(PMI)速報値は46.5と、前月から低下した。市場予想を下回り、約3年ぶりの低水準。これを受けて石油需要減退への懸念が強まり、相場の下押し要因となり83.74ドルへ続落しました。

●25日、米紙ウォール・ストリート・ジャーナル(電子版)は25日、イスラエルが米国の申請に応じ、パレスチナ自治区ガザへの地上侵攻を遅らせることで合意したと報じた。ただ、ロイター通信によると、イスラエルのネタニヤフ首相が同日のテレビインタビューでガザへの地上侵攻を準備していると発言したとの報道もあり、中東情勢に関する見通しはいまだに不透明。ガザ侵攻が実行されれば、中東各地に紛争が拡大する可能性があり、エネルギー供給に影響を及ぼすとの懸念が根強いことから、相場は取引後半に一段高となり85.39ドルへ反発しました。

●26日、イスラエル軍が25日夜から26日未明にかけてガザ北部で「次の段階の戦闘準備」として急襲作戦を実施したと伝わり今後の情勢は不透明なもの、この日はいったん利益を確定させる動きが優勢になった。市場関係者の間では、イスラエルの原油産油量が少ないことから、同国とパレスチナ間の戦闘がエネルギー供給に及ぼす影響は限定的と指摘する向きもあり中東情勢を背景とした供給不安が幾分和らぎ相場は83.21ドルへ反落しました。米商務省が26日に発表した2023年7~9月期の実質GDP(国内総生産)速報値は、季節調整済み年率換算で前期比4.9%増と、前期(2.1%増)から急拡大。市場予想を上回り、米経済の好調ぶりが改めて確認された。米連邦準備制度理事会(FRB)による金融引き締め長期化観測を背景に、利上げ長期化が景気減速を招きエネルギー需要減退につながるとの見方もあり、相場を圧迫した。

10月27日 16:00現在 WTI原油 84.66ドル 為替 1ドル 151.38円



	次回元売変動予測	
	11/2~	元売変動予測
ガソリン	→	-0.4~+0.1
灯油	→	-0.4~+0.1
軽油	→	-0.4~+0.1
A重油	→	-0.4~+0.1
LSA	→	-0.4~+0.1

【製品卸価格】

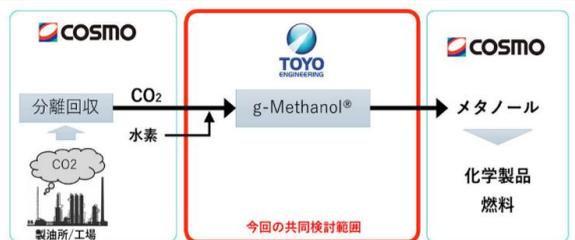
《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+3.5円」、補助金は、「-35.7円・60%」、都合「+2.6円」の値上げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの23日時点の小売価格平均は173.4円となっております。

《10月28日以降》次回の元売り改定は、原油コストは「-1.5円~-2.0円」、激変緩和補助金は「-34.1円・60%」の見込みで、都合「-0.4~0.1円」の改定の予測となっています。

※原油コスト「-1.5円~-2.0円」
 ※激変緩和補助金「-34.1円」 前週比+1.6円
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】<コスモHD・東洋エンジニアリング、製油所のCO2からメタノール生産検討>

コスモエネルギーホールディングス(HD)は23日、産業プラント大手の東洋エンジニアリングと共同で、製油所から出る二酸化炭素(CO2)から船舶燃料や化学品原料に使うメタノールを合成する事業の検討を始めると発表した。製油所の環境負荷を抑える取り組みとして、2030年以降の実現をめざす。東洋エンジはCO2と水素を反応させてメタノールをつくる手法について、触媒などの交換が容易で、省エネルギー性能が高い反応器の設計技術などに強みを持つ。コスモHDは事業の採算などを見極め、最終的な投資を判断する。生産規模や水素の調達方法は今後検討する。



【出典】 コスモHD HP: <https://www.cosmo-energy.co.jp/ia/information/press/2023/231023.html>
 日経電子版: <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUOC232GZ0T21C23A000000/>